

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 169 号>

# 神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）  
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F  
 TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)  
<http://www.kanagawa-iguren.com>

## 2016年12月号

### 【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 ..... 1、2、
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 ..... 3、4、5、
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー ..... 6



### 【 神奈川イグレンご案内 】

#### << 年末年始のお知らせ >>

**12月27日（火）～1月4日（水）夏季休暇。 5日スタッフ会議2時より挨拶回りの予定**

#### < 新グループ設立に関するお知らせ >

イグレン広報 : 宗和

新グループ設立に関する会合が 11 月 24 日に開催されました。今回スピーカーとしてお迎えしたリニューアルプロジェクト代表の有馬 俊一氏から「シニアからの行動指針」という事で、『仕事半分、ボランティア半分／仕事人間だった 60 年』という話を伺いました。

昭和 24 年 (1949 年) 鹿児島県の薩摩生まれの 67 歳。生後間もなく横浜の地へ来ることになった有馬さん。途中、大病を患ったものの一命を取留め、現在では精力的に活動されています。建築デザインの仕事の傍ら横浜シティガイドとして 12 年間ボランティアとして参加されています。元々教師になりたかったという有馬さん。誰かに何かを教える、伝えるという事が横浜シティガイドとして生かされている様です。横浜にはいたる所に名所があり歴史的探検も行える。これらを多くの人に伝えて後世に残していく事が大切だと言います。どう皆に伝えればよいのか・・・？有馬さんは少しでもガイドの話を面白くするために日々研究していてネタ帳まで持っているそうです。

大病がきっかけで今まで仕事人間として生きてきた自分自身を見直すきっかけになった有馬さん。この時、頭の中がリセットされた不思議な感覚に見舞われ、とても清々しい気分だったと言います。現在、NPO 横浜シティガイド協会で企画実行部会、研修部会、広報誌「横浜パンチ」の編集と執筆をはじめ、ウォーキング、調査活動、研修会、グループ活動などにも積極的に参加されている益々元気なイグレン会員さんです。

横浜シティガイド <http://www.ycga.com/>

## <相模原メンバーズ21> 28周年記念の会 感謝の集い

11月7日、相模原市の「メンバーズ21」グループが、創立28周年を祝い、加山俊夫相模原市長らの来賓多数の参加を得て相模原市市民会館にて約80名が参加し盛大に開催されました。同グループは神奈川県異業種グループ連絡会議(当時)などが主催した21年前の「県央地域異業種交流大会」の主催団体の一つで、それが縁で私(芝)も招待されました。

グループの尾作晃代表幹事が「25周年をやりようとしたら準備が遅れて28周年になった」と笑わせ、「グループの古い資料が全くなって相模経済新聞の記事を探して記念誌を製作した」と苦労話を披露、イグレンの古い資料を探してみようかと思いました。

萩原孝雄初代表幹事からふられて、21年前を思い出しながら当時の様子を報告しました。650名参加、10分科会という規模の大きさと、地域の総力戦だったように思います。

今後ともグループが発展することを期待します。

(芝忠)

---

## 【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

### 【 川崎異業種研究会 】

川崎商工会議所 桂 千香

#### <10月定例会(国外視察会)>

当研究会では毎年10月に、国内と国外視察会を交互に実施している。  
今年度は海外視察の年で、10月14日(金)～15日(日)会員11名の参加を得て、台湾の台北視察会を行った。

#### 【14日(金)】

羽田空港(東京国際空港)から台北松山空港に向かった。到着後、「台北市日本工商会」を訪問し、事務局総幹事の前田吉徳氏より台北の事情説明を約2時間受けた。現地の経済状況や文化、人々の気質や生活習慣など具体的事例を交えた内容で、台湾へ進出する事への興味を持たされた大変良い機会であった。その後、台湾料理を堪能しグロリアプリンスホテル台北で宿泊した。



「台北市日本工商会」にて



台北市日本工商会 事務局総幹事 前田氏

## 【15日（土）】

専用車にて、取扱量台湾第2位の基隆港（キールンコウ）を見学。続いてその基隆港が一望できる中正公園を向かった。その後、異国情緒たっぷりの「十分」で天燈（ランタン）上げを体験した。高さ1メートル程の紙状の風船に願い事を書いて飛ばすとご利益があるという台湾伝統行事で、参加者一同、それぞれの願いを込めて飛ばした。この十分からローカル線の「平溪線（ピンシーシエン）」に乗車し、レトロな街並みに似合う茶芸館やカフェが軒を連なっている九分を散策。余談であるがこちらでは、台風21号の余波を受けて、豪雨に見舞われ一同、全身びしょ濡れになりながら、夕食会場へ向かった。夕食後は世界第4位の高さ（509m）を誇る台北国際金融センター（通称：台北101）に昇った。このエレベーターは日本の東芝エレベーター製で最上階の89階までわずか39秒とのこと。実際、乗っている時間は大変短く、また快適で静かであった。



天燈（ランタン）上げ

## 【16日（日）】

最終日は国民革命忠烈祠を視察した。いくつもの革命、中国大陸での日中戦争などにおいて戦没した英霊を祀る祠で、中華民国国防部の管轄下にある。ここでは陸・海・空軍より選抜された兵士が、1時間交代で守って、それまで微動だにしない兵士が定刻になると一斉に隊列を組み一糸乱れぬ姿は、感動的であった。最後の視察地、国立故宮博物院は、中華民国の国立博物館のうちの最大のもので古代の中国の人工品および美術品を所蔵しており、古代の皇帝によって集められたものであるとのこと。予定通り全行程を視察し、台北松山空港を発ち、18時30分、羽田空港に到着し、解団式を行い、散会となった。

## &lt;10月分科会&gt;

2016年10月6日（木） 18:30～より「中原市民館」第1会議室にて会員7名、和光大学生14名の参加を得て開催した。今回は『ストレス軽減に効果的・カラーサイコセラピー講座』というテーマで、講師カラーイメージ&ヒーリングアドバイザー高橋かをり氏に講演いただいた。カラーセラピーとカラーサイコセラピーの違いから歴史、そして実際にストレスチェックを行っていただいた。懇親会では想像以上にストレスが溜まっている方のストレス軽減方法について、お話しいただいた。

## 【第178回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

例年通り、12月は休会ですが来年1月25日（水）に新年会を兼ねて開催します。

1. 日時：2017年1月25日（水） 午後4時30分～5時15分 協議会  
午後5時30分～7時30分 新年会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室  
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会 TEL：045-228-7331  
\*新年会の会場は「日本海庄や」馬車道店 TEL：045-662-7411
3. 次第：
  - 会長挨拶・・・瀧澤 清氏
  - メイン講師・・・神奈川県異業種連携協議会 専務理事 芝 忠氏  
タイトル：『人を大切に作る経営』を考える  
要旨：今あちこちで話題になっている坂本光司氏の提案を紹介したいと思います。  
3年前に経営学会が設立されましたが、私も参加しています。  
1月27日には同氏が「シフト21」で講演会も開かれます。（45分程度）

## 【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

平成28年度補正

### 「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」緊急セミナーの開催案内

平成28年度の補正予算が、例年より2、3カ月程早く成立したため、「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の公募が11月14日(月)より開始されました。締め切りが1月17日(火)ですから、応募しようと考えている方は急いで申請書の作成に取り組みなければなりません。(「認定支援機関確認書」を依頼する期間も考慮するため)

昨年度は「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」という名称で公募されましたが名称が変わっています。しかし、対象補助事業と補助上限額はほぼ同様です。今年度の大きな特徴は、採択公表の時期が昨年度より3カ月ほど早まって、3月中に採択公表される予定です。従って、事業の実施期限は昨年度とほぼ変わりがないので開発事業にゆとりをもって取り組むことが出来ることです。

今回のセミナーでは、採択に結びつく申請書の書き方を易しく説明するとともに、希望する方には別の日に、有料で申請書作成を最後までお手伝いいたします。

#### 「緊急補助金セミナー」

1. 開催日時 平成28年12月20日(火) 18:00~20:00
  2. 会場 神奈川中小企業センタービル6階の特別研修室
  3. 講師 中小企業診断士 松井 利夫
  4. 資料代 1,000円 (イグレン会員 500円) (詳しくは添付しました開催案内をご覧ください)
- 主催 NPO C&S 経営支援協会  
後援 神奈川県異業種連携協議会

【問い合わせ先】 NPO C&S 経営支援協会 (ケイイ 090-9130-0119) 又は  
神奈川県異業種連携協議会 (TEL 045-228-7331)

---

## 第73回三浦半島経済人サロン

会員 平野和夫

11月16日、神奈川新聞横須賀支社ビルで開かれ、初めての試みとして二人の講師がそれぞれ別のテーマで講演しました。

まず三浦地域資源ユーズ株式会社総務部長の千葉智さんが「三浦バイオマスセンターは肥料も製造しているの？」のテーマで、ことし6月、設立10周年を迎えた同社について、設立経緯、現状、問題点、今後の展望などについて話しました。その中で千葉さんは「し尿、浄化槽汚泥を処理してきた三浦市衛生センターが老朽化し、立替えが必要になり、三浦市と三浦商工会議所の呼びかけで、平成18年7月三浦地域資源ユーズ株式会社が設立され、国の交付金を受けて三浦バイオマスセンターを建設しました」とセンター設立の経緯を話しました。その上で「同センターではし尿、浄化槽汚泥の他に農作物収穫残渣(ごんさ)、水産残渣、下水道汚泥も受け入れ、処理過程で生成したバイオマスガスを燃やして、お湯や電気を作り出して施設を動かすエネルギーに利用している。また、堆肥も製造して、農地に還元するなど、資源を有効利用して循環型社会に役立っている」と話しました。寸法不足、曲がりものなど市場に出せないが、取れたての大根を一本ずつプレゼントされました。

もう一人の講師、「三浦半島障がい団体絆&グループ」代表の蘇武春男さんはテーマ「右・左のマヒでもやれば出来る思いは賛同者探せ」で講演しました。蘇武さんは全くの健康状態からある日突然、脳梗塞に襲われ、治療中にあろう事か再度の発症があり、約3年間は「生ける屍」状態だったが、リハビリなどの努力と多くの人のお力で、今日なんとか活動できる状態にまで復活した、と報告しました。その上で、「右・左の片マヒでもやれば出来る」と、同病の人達との親睦団体設立、障がい者バーベキュー大会、ボッチャ競技会、ラーメン試食会、三浦産ミニ冬瓜を使った創作料理試食会など、次々と実施したイベントについて話しました。三浦半島は自然・食料・観光などに恵まれているとして、障がい者も高齢者・若者・子ども達と一緒に、家から一歩外に出て積極的に活動しよう、われわれが元気になれば41兆円にも膨らんだ医療費の削減にも役立つ、と呼び掛けました。

三浦バイオマスセンター事業（施設）の紹介ページを見ると詳しく分かりますのでこちらをご確認ください。  
<http://www.shigen-use.biz-web.jp/biomass%20center.pdf>

---

## 異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

《20周年記念 ビジネス交流会 記念講演》

有村 知里

会社・事業を成功させる11のポイント ～「日本でいちばん大切にしたい会社」の事例から学ぶ～・・・ 法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本光司先生

累計67万部以上のベストセラーとなった「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者・坂本光司先生（法政大学大学院政策創造研究科教授）をお招きした講演会を開催いたします。

また交流会として、自社事業や製品等をアピールいただけるプレゼンテーションタイム（1社5分間、先着10社様、有料）、名刺交換や交流を深めていただける懇親会もあり、自己紹介タイムも設けております。定員70名様となっておりますので、お早めにお申し込みください。

■日時 2017年1月27日（金）

- ・13時30分開場 パンフレット配布、名刺交換の交流
- ・14時～15時20分 プレゼンテーションタイム 10社限定（1社5分間）
- ・15時30分～17時 記念講演 会社・事業を成功させる11のポイント～「日本でいちばん大切にしたい会社」の事例から学ぶ～  
法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本光司様

・17時15分～19時 懇親会（立食） 名刺交換・ご歓談、参加者全員による30秒自己紹介

■場所：かながわ労働プラザ4階 5,6,7会議室 ■定員先着70名 ■参加費 5,000円/名（懇親会費込）

■プレゼンテーション参加費 3,000円/社（1社5分間、申込先着10社のみ）

### 異業種交流会シフト21とは

平成8年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどにより研鑽を図りながらも、相互のビジネスに繋げる交流を深めています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。[shift21info@gmail.com](mailto:shift21info@gmail.com)

	尾上町サロン	西湘サロン 第66回	海老名サロン 第38回	三浦半島経済人サロン 第74回
日程	12月22日(金) 18:00~20:30	01月23日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	02月24日 15:00~	01月18日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	中小企業センター703 イグレン事務局	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術セン ター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川新聞社 横須賀 支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	イグレンの忘年会を尾上町サロンを臨時活用して行います。 参加費:実費	「関東学院大学 材料・表面工学研究所のここがすごい!」新しいめっき技術と夢の超はっ水技術で世界をリードする 関東学院大学 材料・表面工学研究所 副所長・教授 高井 治氏 参加費:1,000円	詳細は後日連絡 会費:2,000円	「やきとり竜馬にお任せ」の紹介 代表:齋藤 秀一氏 1時間程度話を伺ったのちお店に移動。懇親会 参加費は実費。

皆さん、今年も残すところあと15日程となりました。今年1年どの様な年になりましたでしょうか?私は健康のためランニングをはじめました。ランニングコーチにお願いしてトレーニングをしていますので体に負担もなくマッスル筋肉を鍛えることができます。特にお尻周りの筋肉がほぐれてきたことで、ここ最近では歩くのもとても楽な状態です。体が資本です。皆さんも体にお気を付けて来年一年もお過ごしください。来年もよろしくお祈りします。今年一年間購読頂きありがとうございました。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail [masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp](mailto:masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp)



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号

神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)